

令和5年度進行管理・評価シート
高梁市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和3年3月29日認定）
（最終変更 令和6年3月29日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 関係各課との連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画等との連携による良好な景観の形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 高梁市歴史的町並み保存地区整備事業	3
2 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	4
3 史跡備中松山城跡記念物保存修理事業	5
4 松連寺本堂保存修理事業	6
5 吉岡銅山遺跡調査事業	7
6 笹畝坑道整備事業	8
7 ベンガラ館整備事業	9
8 松山踊り保存伝承活動推進事業	10
9 備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業	11
10 高梁地区道路美装化事業	12
11 吹屋地区道路美装化事業	13
12 城山ウォーキングコース整備事業	14
13 旧吹屋小学校周辺整備事業	15
14 古民家再生事業	16
15 日本遺産推進事業	17
16 歴史と文化の普及啓発事業文化の普及啓発事業	18
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存又は活用、文化財の修理	19
2 文化財の保存・活用を行うための施設	20
3 文化財の保存及び活用の普及啓発	21
4 文化財の防災、埋蔵文化財の取扱、文化財の 保存・活用に関わっている住民、任意団体など 各種団体の状況及び今後の体制整備	22
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 2023年アジア都市景観賞受賞	23
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光客数(主要文化財対象者数)の推移	24
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	25

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

関係各課との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------	--	---

計画に記載している内容 計画の実施にあたっては、「高梁市の歴史と伝統等を生かした文化のまちづくり連絡会議」において、計画の推進、連絡調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

観光課が中心となって、関係課と連携を図り各事業を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	第2期計画の事業の円滑な実施に向けて、関係課の一層の連携を図り、取り組みを推進していく必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等

【庁内組織】

・機構改革に伴い、「高梁市歴史と伝統等を生かした文化のまちづくり連絡会議」の組織改編を行った。

(旧) 令和4年度 組織図

会 長: 政策監
 副会長: 総務部長、産業経済部長、
 土木部長、市民生活部長、
 教育次長
 委 員: 日本遺産・歴まち推進室長、
 農林課長、観光課長、
 建設課長、西部土木事務所長、
 都市整備課長、市民課長、
 有漢地域局長、成羽地域局長、
 川上地域局長、備中地域局長、
 教育委員会社会教育課長



(新) 令和5年度 組織図

会 長: 政策監
 副会長: 総務部長、産業経済部長、
 土木部長、市民生活部長、
 教育次長
 委 員: 農林課長、観光課長、
 建設課長、西部土木事務所長、
 都市整備課長、市民課長、
 有漢地域局長、成羽地域局長、
 川上地域局長、備中地域局長、
 教育委員会社会教育課長

【庁内連絡会議】

・事業担当課と随時協議しながら事業を推進した。
 (関係課) 教育委員会社会教育課、観光課、成羽地域局、
 建設課、都市整備課、西部土木事務所

【法定協議会】

・第18回 高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会
 開催日: 令和6年2月27日
 主な議事: 令和5年度事業の実施報告について
 令和6年度事業の実施計画について
 計画変更について



第18回 高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度
景観計画等との連携による良好な景観の形成		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

重点区域内の文化財周辺については、その大部分が高梁市景観計画に基づく自然緑地景観形成ゾーン、歴史的町並み景観形成ゾーン、駅周辺景観形成ゾーンもしくは、主要眺望地点に定められている。

高梁地区重点区域においては、都市計画法による奥万田地区地区計画を定めており、建築物などの形態または意匠、高さの制限や、屋外広告物の規制など、文化財の周辺景色としてふさわしい地域となるよう規制を行っている。

吹屋地区重点区域は、吹屋中心部を重要な景観とその背景を保全するための眺望地点に指定し、周辺の山並みと一体となった調和した景観の維持及び向上を図るため、大規模建築物などの規制を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年に策定した高梁市景観計画に基づく届出がある場合、景観審議会において景観形成基準に対する適合性を審議している。令和5年度は、13件の届出があり、そのうち景観形成重点地区内については8件の届出があった。

また、令和5年3月、都市計画法第18条の2に基づいた「高梁市都市計画マスタープラン」を策定、公表した。高梁市都市計画マスタープランでは、まちづくりの方針を「土地利用・市街地整備」「都市交通」「水道及び河川の整備」「公園・緑地の整備」「自然環境保全」「防災・防犯」「景観形成」の7つの分野からまちづくり方針を設定した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的な町並みが保存されている地区において、人口減少による空き家の増加や近代的な建築物の増加が見られる。 こうした地域においては「高梁市歴史的町並み保存地区整備事業」といった諸事業を実施し、適正に管理することで歴史的風致の維持及び向上を図る。

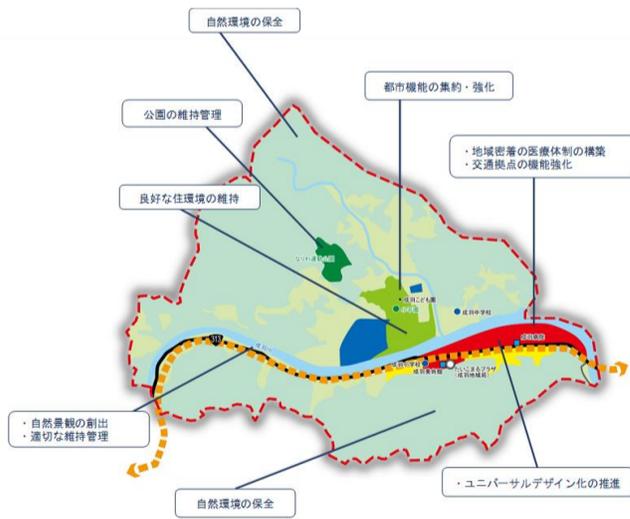
状況を示す写真や資料等

- 高梁市景観審議会 第16回 定例開催:令和6年3月6日
 主な議事:令和5年度 高梁市景観計画及び景観条例に基づく届出実績報告

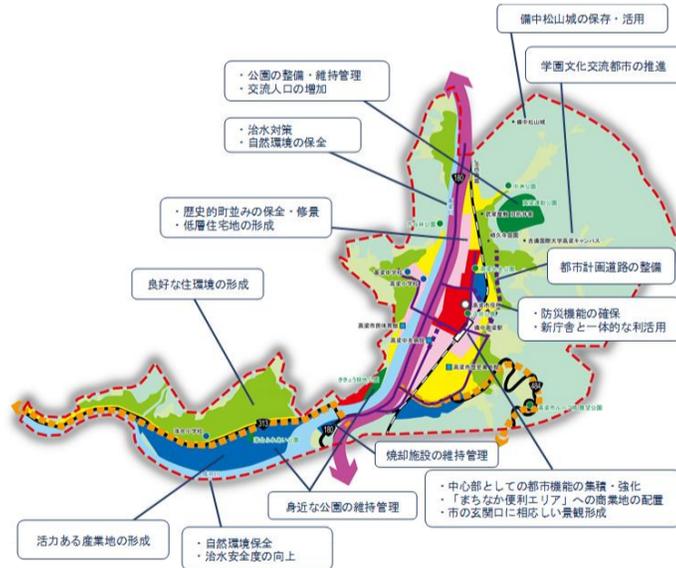
- 高梁市都市計画マスタープラン(令和5年3月策定)

高梁市都市計画マスタープラン(抜粋)

高梁都市計画区域(成羽)



高梁都市計画区域(高梁・落合)



景観形成の方針

市街地を取り巻く豊かな自然景観の保全
 歴史・文化を活かした個性ある都市景観の形成
 にぎわい・魅力・住み良さを感じるまちの景観づくり
 市民の理解と協力による景観形成
 景観計画に基づいた景観づくりの推進

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

高梁市歴史的町並み保存地区整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------------	--	---

事業期間 平成22年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的な町並みを保存し後世に伝えていくため、城下町の面影を残す路線を歴史的町並み保存地区とし、その沿線の建築物等を対象物件として、市が定める条件にあった歴史的に価値がある建造物や住宅等の外観を、保存修理または修景をする者に対して一定の補助をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

城下町の面影を色濃く残す本町や石火矢町、紺屋川筋など、高梁市景観計画に定める景観形成道路を対象地区として、伝統的の家屋等の保存修理や修景に対する補助を行っている。令和5年度は、修景1件に対して補助を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	人口減少等の影響もあり、歴史的な町並みにある家屋は老朽化による取り壊しや空き家が見られるようになってきている。制度の一層の周知や住民意識の醸成を図り、歴史的町並みの存続に努める必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等

●原田邸新築(川端町)



修景前



修景後

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業補助金

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区に選定されている吹屋地区の歴史的風致を継承していくため、伝統的建造物の保存修理等に対する支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高梁市吹屋重要伝統的建造物群保存地区の傷みが激しくなってきた伝建家屋を順次整備していくことで、歴史的風致の維持向上を図った。令和5年度は、1件の保存修理を行うとともに、3件の小修繕を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	施主の高齢化により改修への意識が低くなってきているが、吹屋町並保存会と連携し、引き続き、意識の高揚を図る。

状況を示す写真や資料等

《実施した建造物》



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
史跡備中松山城跡記念物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業補助金

計画に記載している内容 史跡備中松山城跡は、史跡指定地が8箇所にて点在しており、地点ごとにおける整備基本方針によって、保存整備、環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大池及び大池周辺の保存整備を長期的に実施する計画であり、令和5年度は8年目である。大池からの水の排水部に当たる石垣(下の段石垣)と大池との間に排水路を整備した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後の発掘調査によって、整備方針を検討していく必要がある。 下の段石垣の積み直しを行うとともに、埋もれているこの石垣の延長部分の整備方法を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



整備前



整備後



下の段石垣部分の排水路埋設状況

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
松連寺本堂保存修理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物として指定した松連寺の本堂は、傷みが激しく雨漏り等が悪化している状態であることから、所有者が実施する保存修理に対して財政的な支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松連寺の保存修理工事に対し、令和4年5月10日付けで補助金交付決定を行い、市補助対象部分の工事に対して補助を行う。令和4年度において着工した市補助対象部分について、解体工事を行ったところ劣化状況が想定を超えており、令和5年度に事業を繰り越し引き続き施工、令和6年3月31日に竣工した。

進捗状況 ※計画年次との対応

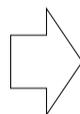
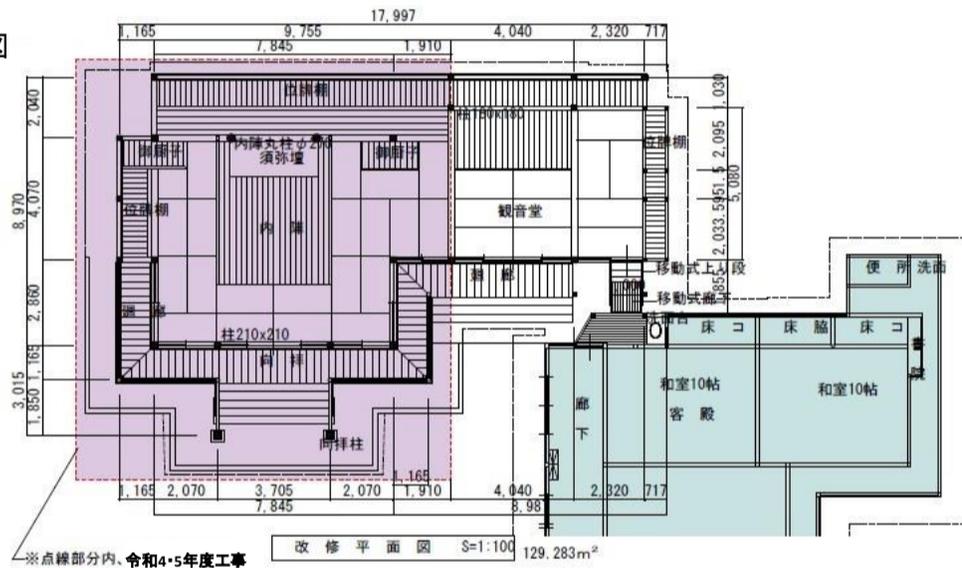
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

保存修理に当たっては、市補助対象部分と県指定重要文化財の補助対象部分とに分け、施工を行った。

状況を示す写真や資料等

松連寺本堂 改修平面図



評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
吉岡銅山遺跡調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業補助金

計画に記載している内容 吹屋地区が銅山と弁柄で栄える礎となった吉岡銅山遺跡に関する発掘調査や文献調査、記録の収集などを行い、歴史的・文化的な価値付けを行い調査報告書としてまとめる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

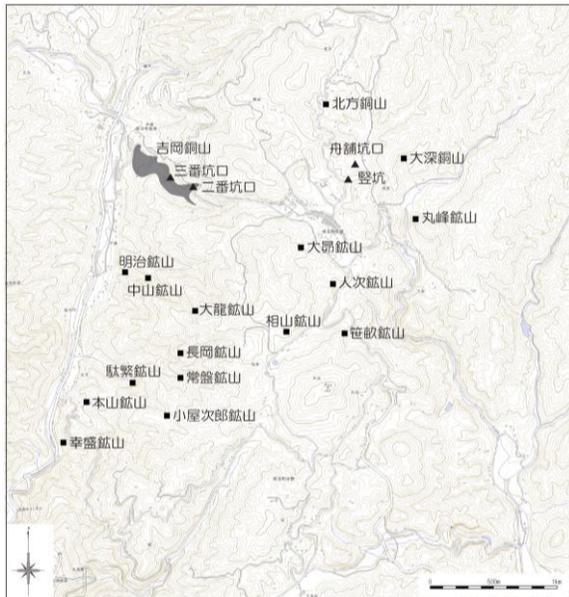
吉岡銅山関連遺跡の文化的な価値付けを行うために、計画的に発掘調査、測量調査、文献調査等を実施している。令和5年度は、選鉱場(シクナー)の遺構の把握のために樹木伐採を行うとともに、選鉱場跡の一部で遺構の残存状況確認のための発掘調査を実施した。また、効率的な確認調査を行うため、赤色立体地図の作成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

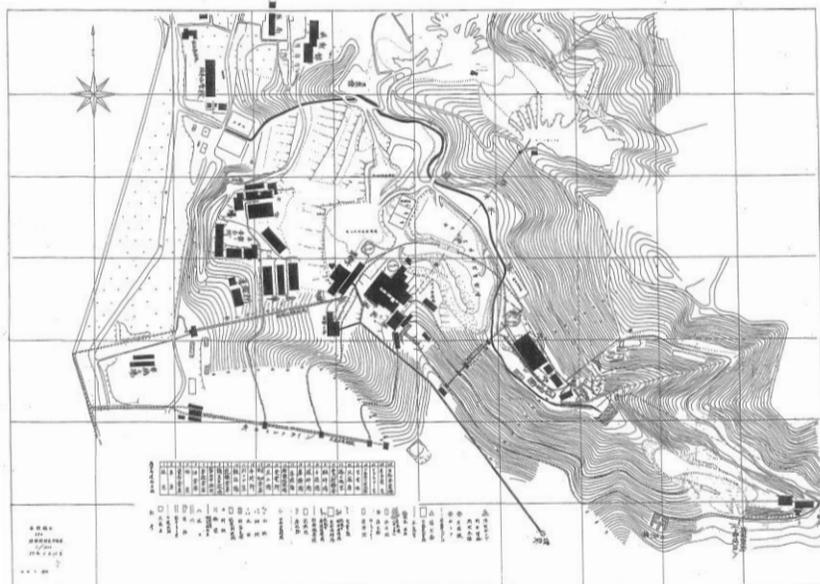
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
令和3年度に吉岡銅山関連遺跡調査委員会において、今後の調査指針をまとめた。各地に残されている過去の銅山の記録調査と発掘調査を並行して実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等



吉岡銅山と周辺の鉱山



吉岡銅山の建物配置(過去の図面)



吉岡銅山 選鉱場跡(シクナー)



発掘調査で検出した選鉱場跡の遺構

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
笹畝坑道整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和7年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 笹畝坑道の入口奥及び出口付近等の外壁を支える坑木が腐朽しているため、修理を行う。また、坑道内の説明には欠かせない採掘作業を再現した人形、照明設備も傷んでいるため計画的な整備を実施する。

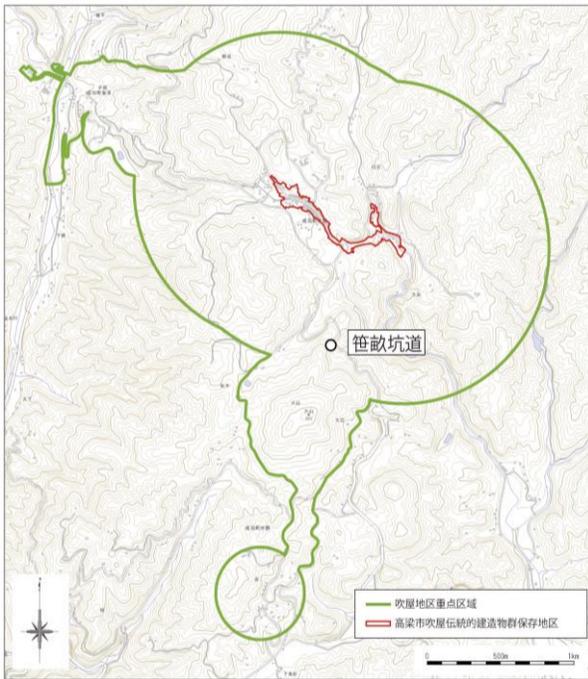
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

老朽化が進む笹畝坑道の木部が腐朽している危険カ所の修理を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	坑道内の痛みが進行していることから、補修を継続し進めていく必要がある。
--	-------------------------------------

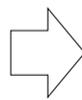
状況を示す写真や資料等



笹畝坑道 位置図



修理前



修理後

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
ベンガラ館整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)

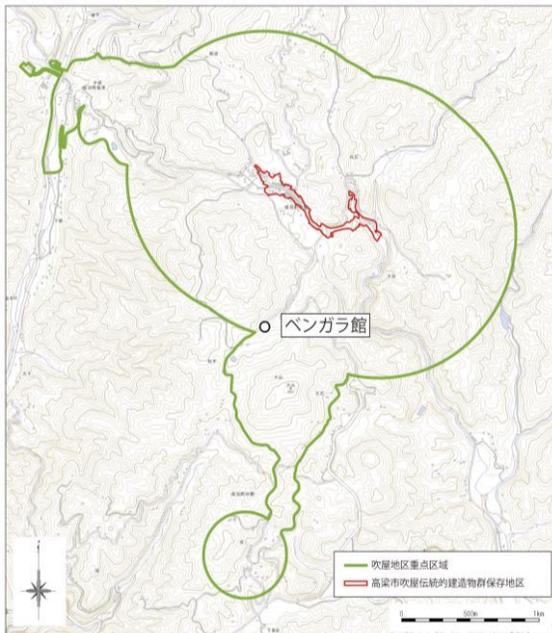
計画に記載している内容 吹屋における明治期の杵柄工場を再現したベンガラ館は、昭和52年の整備から年月が経ち老朽化してきている。
吹屋の繁栄の礎となった産業である杵柄の生産工程を後世に伝え、知ることのできる唯一の施設であるが、水車や干立場(天日干しする場所)などを修理するとともに、見学しやすいように説明看板の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、ベンガラの生産をする工程の一つである水車が老朽化により木部等の腐朽やにより壊れていたため改修工事を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	貴重な歴史的資源である吹屋で生産された杵柄の工程を、引き続き公開していくとともに、後世に伝えられるよう整備をしていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



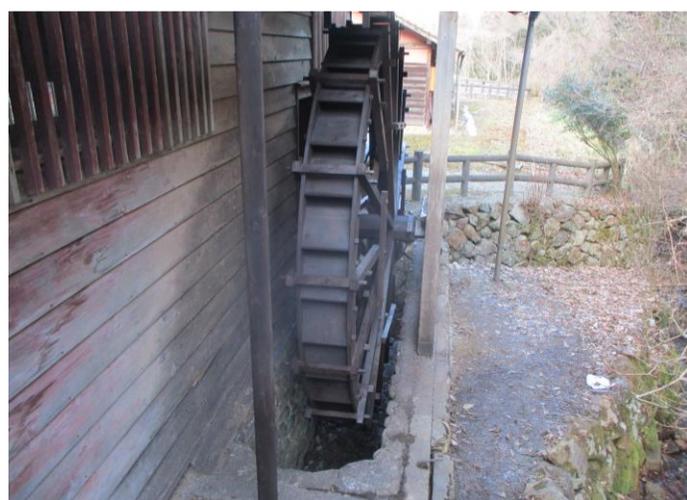
ベンガラ館 位置図



全景 修理前



水車 修理前



水車 修理後

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

松山踊り保存伝承活動推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------	--	---

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 松山踊り(県指定重要無形民俗文化財)を構成する「地踊り」「ヤトサ」「仕組踊り」の音頭や踊りの所作などの保存継承活動をしている団体に対して、保存継承に必要な活動経費と用具の整備にかかる費用について財政的な補助を行い、その活動を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県指定重要無形民俗文化財「松山踊り」の保存伝承活動を行う3団体を対象に、用具整備にかかる補助金交付の申請受付を行った。今年度は各団体から用具整備不要との回答があり、申請交付は0件。(昨年度は1団体)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	団体の担い手が少ないことが要因となり、活動費用の捻出が課題となっており、補助金を活用し継続的な活動ができるように支援を行うことで、活動団体数を維持する必要がある。今年度は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、松山踊りを通常日程で開催するなど、保存継承団体の活動が活発になっており、これを継続するためにも引き続き活動補助を行う必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等

補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)
市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1/2以内で市長の定める額	0千円 (0団体)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
	項目	現在の状況

備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------	---

事業期間 平成23年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 備中神楽(重要無形民俗文化財)、渡り拍子(市指定重要文化財(無形民俗文化財))の保存伝承育成を行う保存会や育成会が活動する経費と用具の整備に対して財政的な補助を行い、その活動を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要無形民俗文化財「備中神楽」、県指定重要文化財「渡り拍子」の保存伝承・育成を行う団体に対して補助金を支出することで、保存伝承、後継者の育成ができるよう支援した。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を契機に活動を再開した団体や、活動を活発化させた団体が増え、補助金交付団体数・交付額ともに新型コロナウイルス感染症流行前(平成30年度)の水準に戻った。
 <令和5年度補助団体数>
 備中神楽保存団体 3団体、備中神楽育成団体 8団体、渡り拍子伝承育成団体 15団体
 用具・衣装等の整備 7団体 計33団体(事業費2,342千円)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	少子化により担い手が減少しているため、神楽育成団体・渡り拍子保存会ともに補助団体が減少していく可能性が課題として挙げられる。補助金の活用により、継続的な活動ができるよう、支援のPRを行うなど取り組みを実施し、活動を行っている団体数を維持する必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等

《活動費の補助》

補助対象団体	補助金の限度額	補助交付実績(市内全域)
備中神楽保存団体	100,000円/1団体あたり 3,000円/会員1人あたり	265千円(3団体)
備中神楽育成団体	100,000円/1団体あたり 3,000円/会員1人あたり 3,000円/保護者1家族あたり	1,118千円(8団体)
渡り拍子伝承育成団体	10,000円/1カラあたり	320千円(15団体)

補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)
市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1/2以内で市長の定める額	639千円(7団体)



渡り拍子 保存伝承活動状況
(鋤崎八幡神社の秋祭り(平川渡り拍子保存会))

活動用設備の整備(備中神楽 大幕)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
高梁地区道路美装化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和5年度～令和8年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

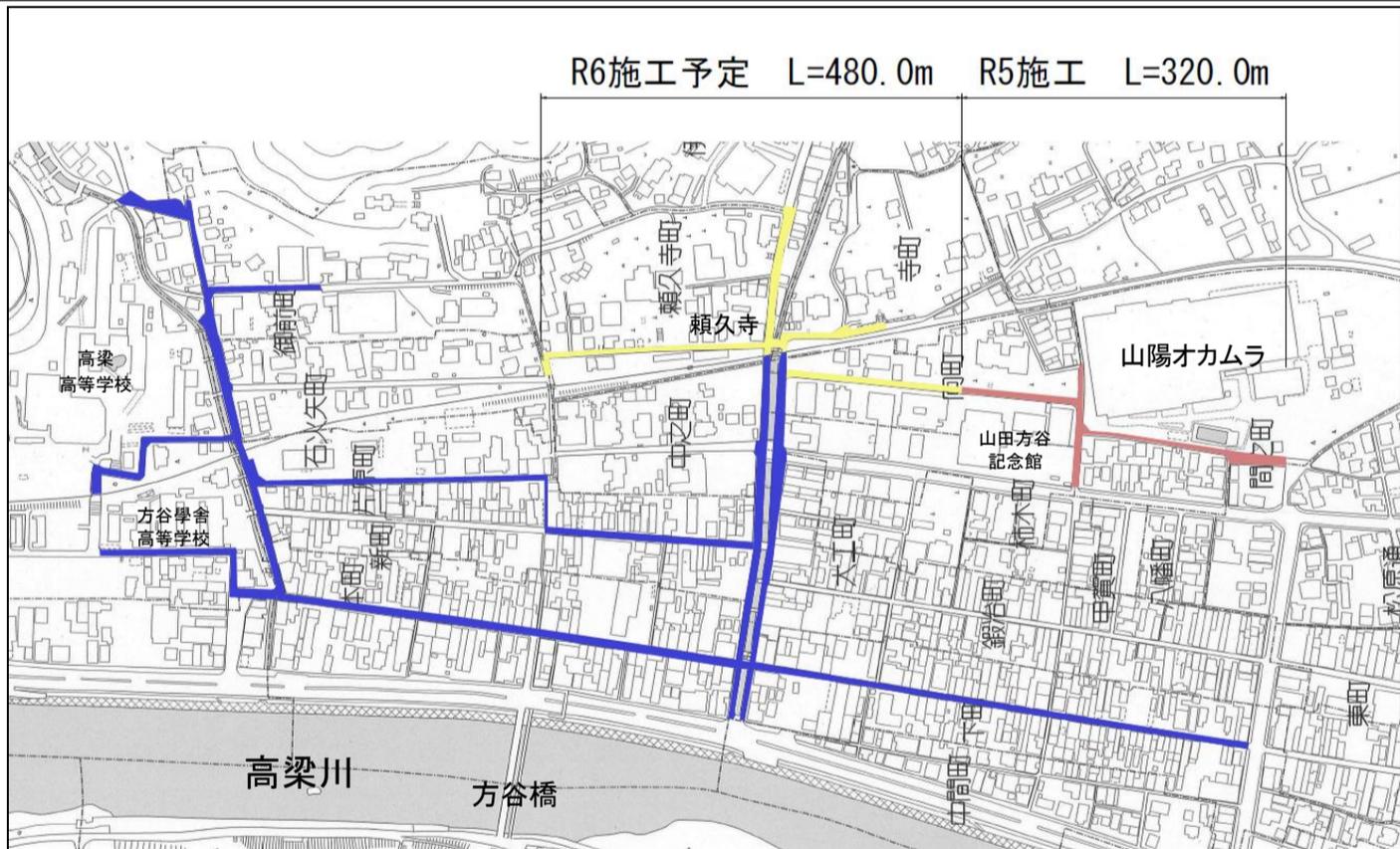
計画に記載している内容 道路の美装化を行うことにより、歴史・文化を活かした景観と、多くの市民、来訪者の回遊性の向上を図ることができ、城下町高梁に見る歴史的風致の維持および向上に寄与するものである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、市道向町正宗町線(向町、間之町地内)のL=320mの道路美装化工事を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地元関係や及び施工業者と工事の日程調整を行い、全体計画として計画のとおり進行している。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

吹屋地区道路美装化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間 令和3年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区を貫通する道路の舗装の傷みが激しいため道路の美装化を行う。市道吹屋線は、長年の利用で道路表面が劣化し、車両や歩行者の通行に支障をきたしている。また、路面荒廃による飛び石等で、周辺建造物への影響も懸念されるため、舗装工事を実施する。

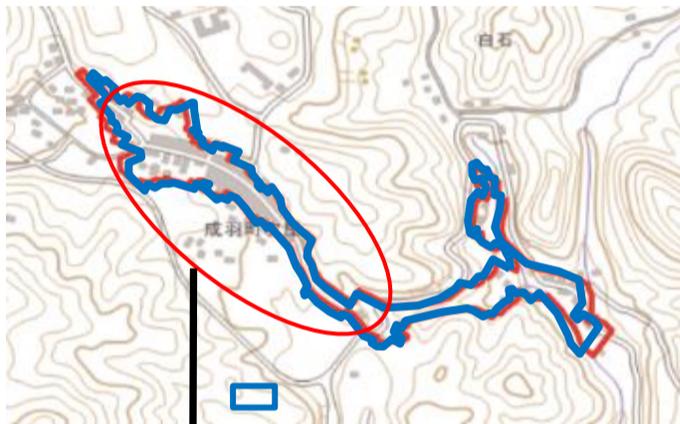
定性的・定量的評価(自由記述)

令和5年度については、地元関係者と協議を重ね、同地区の街なみと調和する道路舗装色の決定及びイベント等を考慮した工事の実施計画を行った。舗装工事については市道吹屋線の高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区の舗装工事を現在施工中である。令和6年度へ繰越を行い令和6年6月末の現場完成を目指し工事を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない
 地元関係者及び施工業者と工事の日程調整を実施しており、特殊な施工機械の日程調整等により令和5年度事業については令和6年度への繰越を行っている。令和5年12月～6月の施工計画をしており、全体計画としてはほぼ計画のとおり進行している。

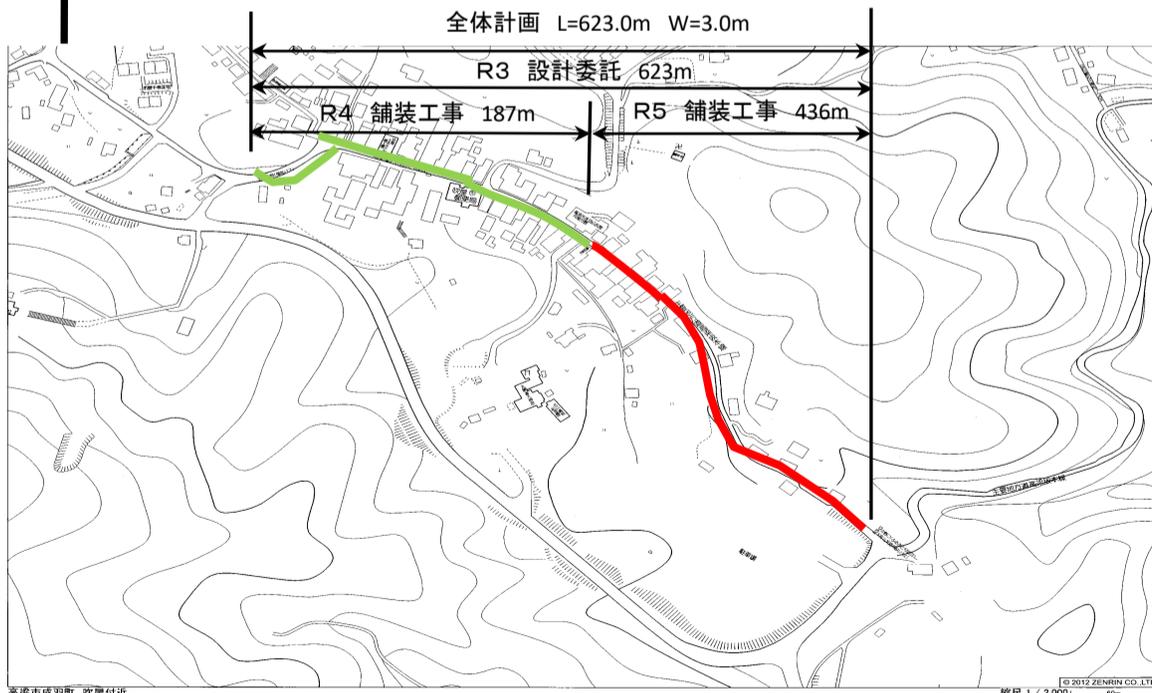
状況を示す写真や資料等



高梁市吹屋伝統的建造物群保存地



路面の傷みが進んでいる市道吹屋線



整備計画位置図

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
城山ウォーキングコース整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 雲海に浮かぶ備中松山城を望む展望台周辺と、臥牛山を縦走する遊歩道や登城道を、これまでに整備してきた「天神の丸跡」や「大池」を含む8箇所の史跡と合わせて、天守が現存する唯一の山城を回遊するルート全体の環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年度は、設置以来約30年が経過し老朽化が進んでいる大松山吊り橋の木製床板の一部取替修繕を前年に続き実施した。令和3年度から令和5年度までの3ヵ年計画で実施した最終年度である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	回遊ルートは広範囲であるため、関係課の連携を図りながら、計画的に環境整備を進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



●大松山吊り橋全景



修繕前



修繕後

評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

旧吹屋小学校周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	--	---

事業期間 令和3年度～令和6年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧吹屋小学校校舎保存修理工事の完成時期に合わせて、校舎周辺で必要となる整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

町並みを眺望できる展望デッキの必要性について地域住民との協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	吹屋の「赤い町並み」を立体的に一望できるスポットの設置場所の選定や整備形態について慎重な判断を要している。
--	---

状況を示す写真や資料等



整備予定位置図(吹屋地域コンセプトプラン)

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
古民家再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 吹屋地区重点区域では、重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業により修理・修景補助を行ってきているが、空き家が増加しており町並み景観の維持が困難な状況になっている。交流滞在型の観光ビジネスを構築して地域の活性化と文化の継承、集落の維持再生を図ることを目的に、空き家を改修し1棟貸しの宿泊施設等として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

古民家を再生した宿泊施設「町家ステイ吹屋 千枚」に続く2棟目の宿泊施設整備に向け、整備対象である空き家の寄付を受け、所有権移転登記を行った。宿泊施設への整備方法、運営方法について適切な方法を模索している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



カフェ併設の1棟目施設「町家ステイ吹屋 千枚」



2棟目整備対象となる空き家



吹屋地域コンセプトプランによる整備イメージ

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
日本遺産推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和2年度～令和7年度

支援事業名 文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)、文化資源活用事業費補助金(観光拠点整備事業)

計画に記載している内容 「ジャパンレッド」発祥の地として、日本遺産に認定された吹屋地域の関連する歴史文化遺産を国内外に広く発信して交流人口の拡大、地域経済の活性化に繋げる事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

日本遺産を通じた地域活性化計画に基づき、令和5年度は次の事業を実施した。

- 普及啓発事業：日本遺産関連商品・サービス開発支援
- 調査研究事業：弁柄等関連文献調査
- 情報発信事業：日本遺産イベント出店用ブースのディスプレイ作成
- 活用整備事業：既存の案内板のデザイン変更と新規案内板の設置

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

日本遺産を通じた地域活性化計画の重点支援期間が終了しており、今後は、日本遺産の推進に対してより効果的な事業を精査して行く必要がある。

状況を示す写真や資料等

●普及啓発事業【日本遺産関連商品・サービス開発支援】



← 広報用チラシ ↑ 広報用動画



ブランド認定審査会にかけた商品

●調査研究事業【弁柄等関連文献調査】



●情報発信事業【イベント用ブースの作成】



日本遺産フェスティバルでの様子

●活用整備事業【案内板の整備】



旧吹屋小学校への案内看板

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

歴史と文化の普及啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	--	---

事業期間 平成23年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民が、高梁市域全体の歴史や文化、文化財や民俗芸能について関心を持ち、それらに対する意識の向上が図られるよう、歴史セミナー(高梁歴史いろは塾など)を開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高梁市の歴史や文化を学ぶ歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	受講者が固定化しており、講義内容や回数について検討・調整し、幅広い年齢層への普及啓発を行っていく必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等

●歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」の開催

【開催日】	【テーマ】	【参加人数】
11月11日	山陽新聞連載小説『孤城春たり』を歩く-城下の山田方谷ゆかりの地めぐり-	21名
12月9日	岡山県内の庭園調査について-高梁市内の庭園を中心に-	15名
1月20日	日本遺産「ジャパンレッド発祥の地」～弁柄と銅の町・備中吹屋～ 高梁市日本遺産の魅力とこれまでの歩み	10名
2月17日	高梁の近代建築と県庁営繕の仕事	20名
3月9日	明治時代を生きた思想家 綱島梁川の生涯	33名



高梁歴史いろは塾

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	令5年度
文化財の保存又は活用 文化財の修理	現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 地域の貴重な財産である文化財を、適切に保護保存し、活用することは、歴史、伝統、文化などを理解する上で不可欠であり、市民の文化に対する意識の向上と発展にもつながるものである。
文化財の修理にあたっては、その価値を維持していくため、現状維持を基本とする。

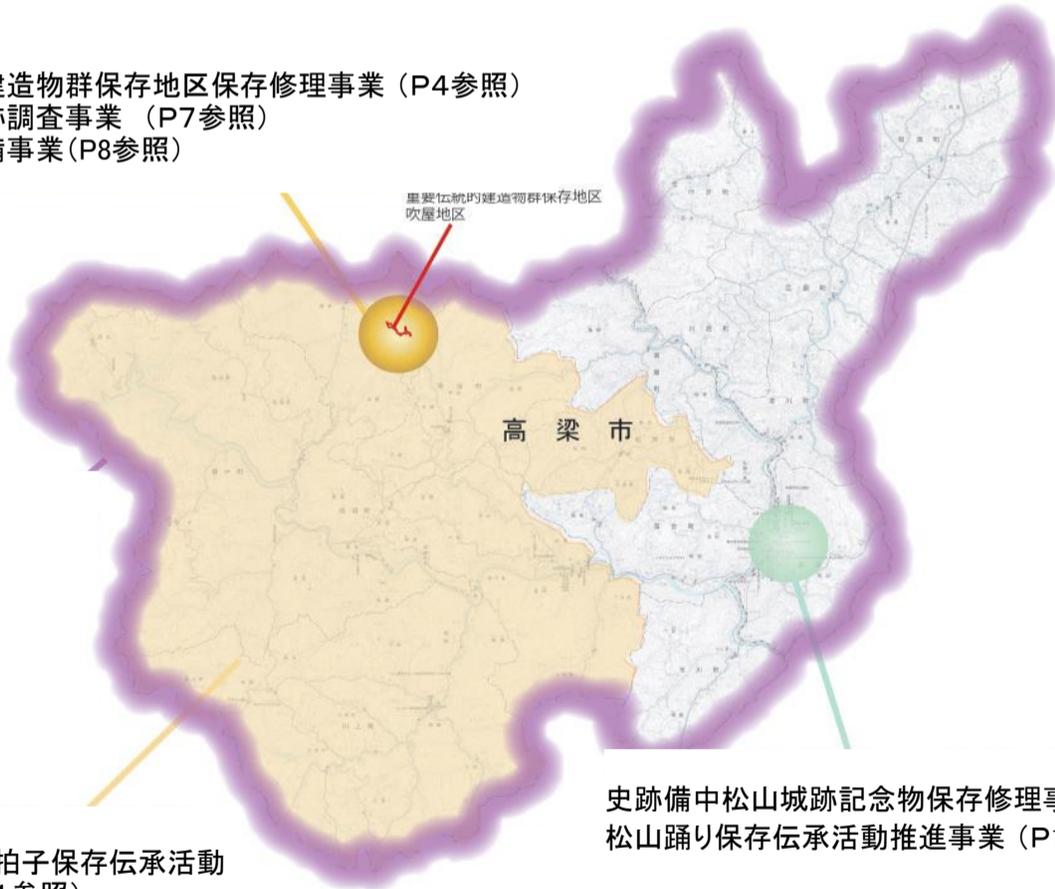
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存・活用について
 - ・吉岡銅山遺跡調査事業 (P7参照)
 - ・笹畝坑道整備事業(P8参照)
 - ・ベンガラ館整備事業(P9参照)
 - ・松山踊り保存伝承活動推進事業 (P10参照)
 - ・備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業 (P11参照)
- 文化財の修理について
 - ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 (P4参照)
 - ・史跡備中松山城跡記念物保存修理事業 (P5参照)
 - ・松連寺本堂保存修理事業(P6参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 (P4参照)
吉岡銅山遺跡調査事業 (P7参照)
笹畝坑道整備事業(P8参照)



備中神楽・渡り拍子保存伝承活動
推進事業 (P11参照)

史跡備中松山城跡記念物保存修理事業(P5参照)
松山踊り保存伝承活動推進事業 (P10参照)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財を広く公開することは、保存、活用を図る上で重要なことである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

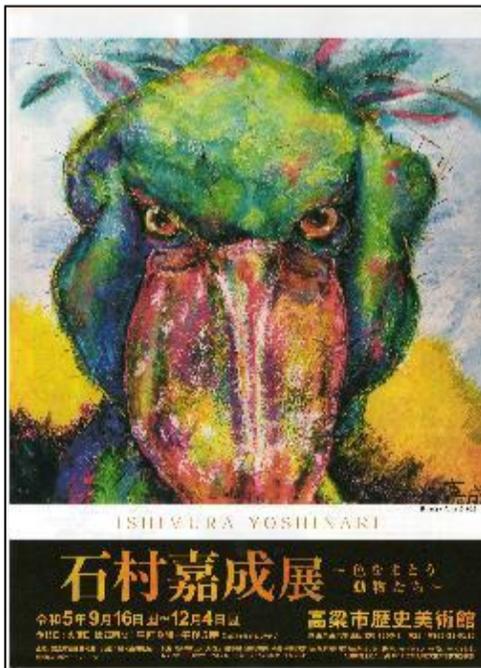
高梁市歴史美術館では、市民をはじめ多くの人に、高梁市ゆかりの文化財や絵画等に親しみ理解を深めてもらう機会とするため、定期的に展覧会を開催している。
令和5年度は、特別展1回と企画展1回、常設展2回を開催し、入場者数は延べ【未定】人であった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	常設展・企画展・特別展を組み合わせた展示計画をたて、展示の固定化をはかる。

状況を示す写真や資料等

●高梁市歴史美術館 展覧会

【期 間】	【展覧会名】	【入場者数】
4月1日～5月22日 (45日間)	企画展「生誕140年 清水比庵展～芸術に遊ぶ～」	558人
6月3日～9月4日 (81日間)	常設展「たかはしの歴史と美術」/「山田方谷の生涯」	251人
9月16日～12月4日 (69日間)	特別展「石村嘉成展～色をまとう動物たち～」	7,393人
12月16日～2月12日 (46日間)	常設展「たかはしの歴史と美術」/「山田方谷の生涯」	130人
2月23日～3月31日 (33日間)	企画展「綱島梁川～明治を生きた思想家の生涯～」	117人



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
			現在の状況
文化財の保存及び活用の普及啓発			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	各種講座、講演会、発掘調査現地説明会、修理現場公開などの開催を通じ、文化財の周知に努め、文化財保護意識の普及啓発を図る。 また、市民が文化財に親しみ、関心を喚起するよう説明板の整備や文化財の現地説明会などに取り組むとともに、市広報紙やホームページ、SNSにも継続的に文化財に関する情報を掲載するよう心掛ける。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高梁市の歴史や文化を学ぶ歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」を開催したほか、地域の歴史について文化財の特別公開、現地研修などを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス対策を十分に講じた上での講座開催や、その他の手段を用いた啓発活動の推進も図る必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ●歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」の開催 (P17参照) ●地域の歴史を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財備中松山城二重櫓 特別公開 春の特別公開(5月3日～5日)、秋の特別公開(11月3日・4日)に開催 ・備中松山城 現地研修 落合小学校、川上中学校、茨城県筑西市職員研修(高梁市友好姉妹都市) ・高梁市郷土資料館(市指定重要文化財・旧高梁尋常高等小学校) 現地研修 高梁小学校、成羽小学校、落合小学校、高梁高校 ・城下町 現地研修にかかる出前講座 有漢中学校、高梁小学校 ・城下町 現地研修 高梁小学校、宇治小学校・松原小学校・川面小学校、富家小学校 ・山田方谷記念館 現地研修 川面小学校、成羽小学校、落合小学校、有漢中学校、高梁東中学校、高梁中学校、高梁高校、 ●市内外等への講師派遣 <ul style="list-style-type: none"> 市内 <ul style="list-style-type: none"> ・高梁市立有漢中学校PTA主催 PTAふれあい講演会「明治時代の有漢」 ・岡山県史跡整備市町村協議会主催 総会 講演「『ジャパレット』発祥の地-弁柄と銅の町・備中吹屋-」 ・吉備国際大学 講義 「文化財から見た高梁の歴史と文化」 ・高梁市教育振興会主催 講演「『ジャパレット』発祥の地-弁柄と銅の町・備中吹屋-の魅力」 ・岡山建築士会 主催 ヘリテージマネージャー研修講座「高梁市の城下町と歴史」 ・川上町上大竹地区協議会 主催 講演「上大竹地区の歴史あれこれ」 ・川上町七地地区協議会 主催 講演「七地の歴史あれこれ-文化財の視点から-」 ・成羽文化協会主催 研修会 「備中松山城跡 大池の発掘調査について」 市外 <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市立操南公民館 主催 「『ジャパレット』発祥の地-弁柄と銅の町・備中吹屋-」 ・岡山県古代吉備文化財センター主催「大地からの便り2023-県内の発掘調査報告会」 「備中松山城跡」 ・井原市文化財センター主催 歴史講座「一緒に学ぼう 重伝建！ 高梁市吹屋の場合」 ・岡山県立記録資料館主催 きろくる岡山ゼミナール 「備中を治めた江戸時代の大名」 ・公立学校共済組合岡山宿泊所「ピュアリティまきび」 主催 歴史散策ツアー講演「日本遺産『ジャパレット発祥の地』吹屋を訪ねる」 ・岡山県神社庁神楽部川上支部主催 研修会講演「備中神楽の今後を考える」 			

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	

文化財の防災 埋蔵文化財の取扱 文化財の保存・活用に関わっている住民、任意団体など各種団体の状況及び今後の体制整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---	---

計画に記載している内容
 消防署と連携し、防火施設や消火設備に対し、助成を行うなど適正な管理を促すとともに、所有者などに対し、定期的な消火訓練などを促し防災体制の強化に努める。
 開発にあたっては、事業者に対して事前に協議を行うように指導し、可能な限り包蔵地を回避し、保存するよう働きかけていく。
 必要な情報提供を行うとともに人材育成を図り、行政と市民との協働による文化財の保存、活用につながるような体制の整備を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーにあわせて、市内の指定重要文化財について、防火査察を行うとともに、消火訓練を行った。また文化財の所有者に対し、防犯、傷付け事案の発生に対する注意喚起を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	世界的な文化財の火災等を受けて、地域住民の文化財等に対する防災意識が高まっているが、引き続き啓発を行うとともに、文化財に対する理解も深めてもらう必要がある。

状況を示す写真や資料等

- 1月26日の文化財防火デーに、高梁市消防本部が教育委員会とともに、国指定・県指定・市指定の重要文化財(建造物)の防火査察を行った。
 また、重要文化財における消防設備点検に合わせて、設置している消防設備の使用方法について訓練を行った。
 (備中松山城、旧片山家住宅、旧吹屋小学校にて)
- 吹屋町並保存会が主体となり、高梁市消防本部、高梁市消防団宇治・吹屋分団の指導のもと、放水訓練を実施した。

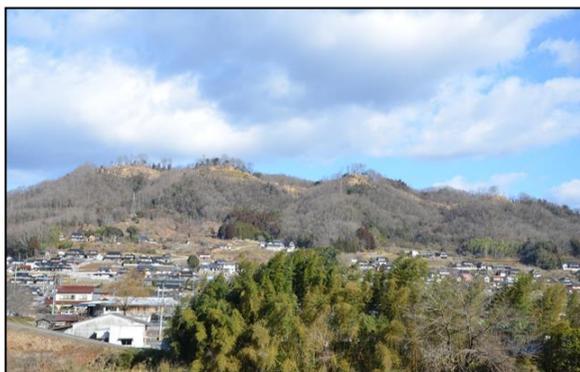


旧片山家住宅での消防訓練



備中松山城での消防訓練

- 開発にあたり、教育委員会に事前の照会が55件あり、埋蔵文化財包蔵地について文化財保護法第93条の届出が26件(工事立会24件、慎重工事2件)、第94条の通知が1件(慎重工事1件)であった。
- 川面町において地元団体が自主的に寺山城の整備を行っており、教育委員会が指導した。



寺山城

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
ひな人形展示や飲食満喫 家族連れらでにぎわう	令和5年4月5日	山陽新聞
グリスロ29日から運行 吹屋地区無料巡回小型電気自動車	令和5年4月26日	山陽新聞
備中松山城とさんじゅーろー マンホールカードに	令和5年4月27日	山陽新聞
山田方谷ゆかりの地を巡る	令和5年4月28日	山陽新聞
吹屋地区ゆっくり巡回 高梁グリスロ運行スタート	令和5年5月1日	山陽新聞
旧吹屋小 年間3万人 リニューアル1年目標達成	令和5年5月12日	山陽新聞
無料コーヒー旧家に活気 高梁市本町地区	令和5年5月28日	山陽新聞
「至誠惻怛」の道徳教育推進へ 方谷學舎高等学校高梁に誕生	令和5年6月1日	山陽新聞
一棟貸しの宿「天籟」開業	令和5年6月2日	山陽新聞
子ども巻き込みまちおこし(本町)	令和5年6月8日	山陽新聞
高梁で10月初開催 自転車イベント 距離別に3コース	令和5年6月17日	山陽新聞
「ジャパンレッド」見て パンフや動画作りPR	令和5年6月22日	山陽新聞
高梁 ラ・フォーレ吹屋 25日に営業再開	令和5年7月1日	山陽新聞
園児 松山踊りに挑戦 高梁幼稚園で体験会 保存会メンバー講師	令和5年7月5日	山陽新聞
高梁、新見、吉備中央-岡山空港 無料バス実証運行開始 広域観光促進図る	令和5年7月23日	山陽新聞
高梁・松山踊り開幕 合いの手復活 城下熱く	令和5年8月15日	山陽新聞
VRでホラー体験 旧吹屋小	令和5年8月18日	山陽新聞
9日から成羽・吹屋「赤で彩るアート展」作家6人 歴史や魅力発信	令和5年9月7日	山陽新聞
屋根瓦ふき替え間近に 松連寺本堂 あす工事現場公開	令和5年9月13日	山陽新聞
ふるさと村一帯でアート展 赤が映える吹屋の風情	令和5年9月16日	山陽新聞
本紙連載「孤城春たり」作者・澤田さん 弟子視点で方谷描写 高梁で講演 執筆の裏側語る	令和5年9月19日	山陽新聞
”天空の山城”雲海予報 高梁市と岡山理科大、来月から公開	令和5年9月26日	山陽新聞
サイクリングで交流 来月1日、高梁 交通規制なし	令和5年9月29日	山陽新聞
自転車で備中路満喫 高梁初催し 特産品のもてなしも	令和5年10月2日	山陽新聞
ジャパンレッド 吹屋伝統的建造物群保存地区 備中日本遺産を巡る	令和5年10月6日	山陽新聞
「千載楽」2基威勢よく 市中心部大人や子ども練る	令和5年10月11日	山陽新聞
成羽愛宕花火実行委員会メンバー 地域の絆深める場を守る	令和5年10月12日	山陽新聞
町並み巡り文化体験を 備中6市2町で来月イベント	令和5年10月13日	山陽新聞
方谷 藩越え影響力 本紙連作小説「孤城春たり」澤田さん講演(東京)	令和5年10月31日	山陽新聞
方谷ゆかりの地巡って 6市でスタンプラリー	令和5年11月2日	山陽新聞
仏に岡山4市町PR 高梁などメディアら招く	令和5年11月10日	山陽新聞
明治～昭和”空気”感じて 元仲田邸写真など100点展示	令和5年11月21日	山陽新聞
紺屋川イルミ 城下町華やぐ	令和5年11月30日	山陽新聞
備中松山城 御城印帳誕生	令和5年12月13日	山陽新聞
日本遺産 絵画作品でPR 旧吹屋小 城南高生が展示会	令和6年1月13日	山陽新聞
吹屋「ジャパンレッド」名物後押し ブランド認定	令和6年1月16日	山陽新聞
景観保全 在り方考える 12団体活動報告や意見交換	令和6年1月19日	山陽新聞
”The Beauty of Japan Red”	令和6年1月28日	日経新聞
備中の町並み どう保存 町家修繕や空き家利用	令和6年1月30日	山陽新聞
高梁市のまちづくり アジア都市景観賞に	令和6年2月6日	朝日新聞
方谷ゆかり史跡紹介 9市町20カ所を冊子に	令和6年2月21日	山陽新聞
城南高生絵画 文化庁で公開	令和6年3月1日	山陽新聞
市にアジア都市景観賞 歴史的町並み保全評価	令和6年3月2日	山陽新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

備中松山城や吹屋地区を中心に、文化財を活用したイベントや文化財の保存・保護に向けた取り組み、観光振興に繋げる内容が数多く報道された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



備中松山踊り(R5.8.14～R5.8.16)



R6.1.19 2023年アジア都市景観賞受賞報告会

項目

観光客数(主要文化財来訪者数)の推移

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

新型コロナウイルス感染拡大の影響で観光客数が落ち込んだが、令和4年度より徐々に感染拡大による影響を脱しつつあり、令和5年度は前年並みの観光客数となっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

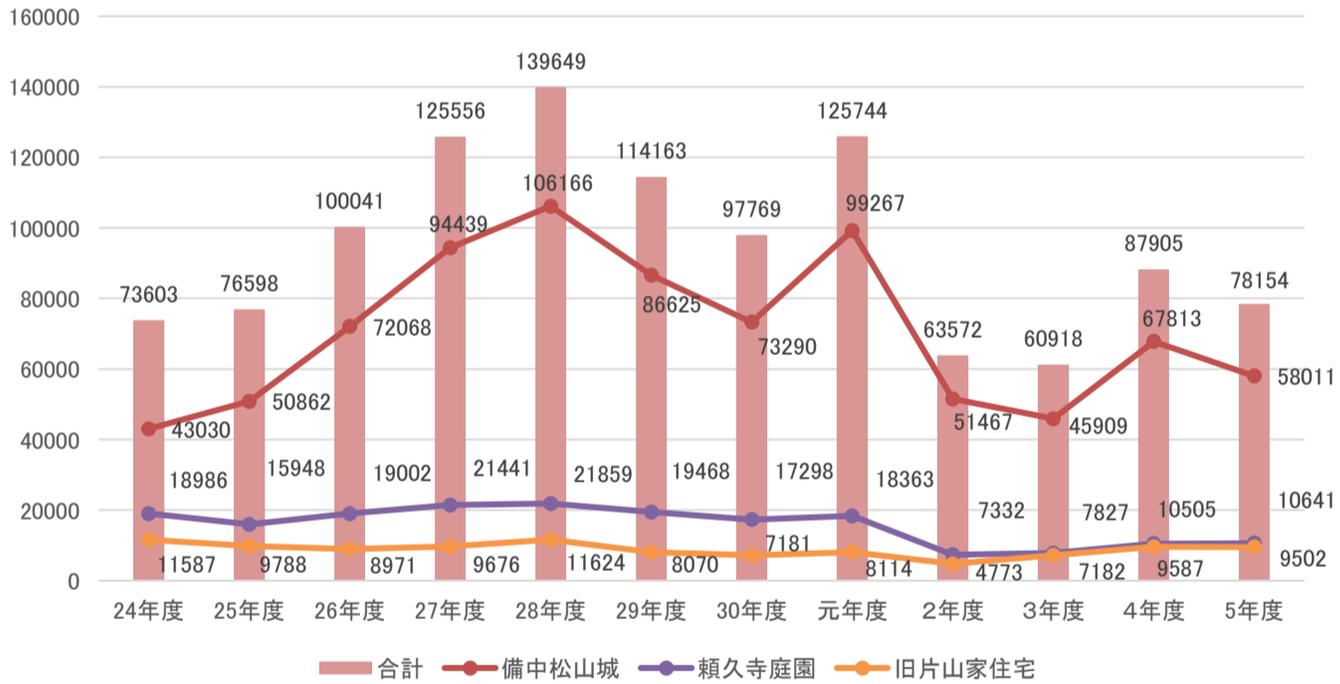
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

アフターコロナを見据えつつ、関係機関が連携して来訪者数の回復に向けた取り組みを進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

主要文化財 来訪者数の推移



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
<p>・法定協議会等におけるコメント</p>	
<p>コメントが出された会議等の名称: 高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会</p>	
<p>会議等の開催日時: 令和6年2月27日</p>	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞在型宿泊施設について、整備・運営方法を検討中とあったが、いつ頃方針が決定するのか。 ・高梁地区道路美装化事業について、住民への十分な説明ができていないか。舗装後の道路について、筋が入っているように感じるのだが、不備はないか。 ・吹屋地区の展望台の予定について、進捗状況はどうか。 ・吹屋地区の大塚屋敷跡の周辺整備について、現状は荒れており歩ける状態ではない。整備する予定はあるのか。とと道のルート上でもあるし、整備すれば周遊するのにいいコースである。 ・藩校「有終館」整備事業について、どのような計画か。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1棟目は、市が整備し、地元の方で会社を設立し運営していただいているが、2棟目も同じ方法で整備・運営するか、地元協議をしながら来年度中には結論を出したいと考えている。 ・美装化について、地元説明が十分できているか、ローラーの跡が施工上のものなのか担当課に伝えて確認していく。 ・展望台について、新しいものを作るより、今ある場所を使って見渡せる場所が用意できないかと考えている。どこに設置するという場所は確定していないが、取り組んでいきたいと考えている。 ・大塚屋敷跡の整備について、周遊コースとして整備する事業が計画の中にある。とと道のルートになっているのも把握しており、必要性は感じているので、今後検討していきたい。 ・有終館の整備について、幼稚園の敷地内のため、整備するのは幼稚園が廃園になった後と考えている。重森三玲の庭と併せて活用と整備を考えていきたい。 	